

山に入るときはクマに注意してください

きのこ採りや紅葉狩り等の行楽シーズンを迎え、山野へ入る機会が多くなってきます。長野県の山にはツキノワグマが生息しており、秋は冬眠に備えて餌を求めて活発に山中を動き回ります。

ツキノワグマとの不意の遭遇による被害を防ぐために、山に入る場合には次のことに十分気をつけてください。

○ 音の出る物を持って、周囲に十分注意して行動してください。

山に入るときは鈴など、音の出る物を持って入りましょう。

なお、人もクマもきのこ採りやえさ探しに夢中になって注意が散漫になってしまう可能性があります。周囲に十分に注意して行動してください。

また、複数で入山するなど、緊急時の連絡手段を確保してください。

○ 子連れのクマに注意してください。

子連れの母グマは非常に神経質です。絶対に近づいてはいけません。

子グマだけがいる場合でも、近くには母グマがいる可能性があります。絶対に近づいてはいけません。

○ 生ゴミなどを放置しないようにしてください。

生ゴミなどもクマを呼び寄せてしまいます。生ゴミに餌付いたクマは人を怖がらなくなり、大変危険です。生ゴミは適切に処理してください。

なお、餌付け行為は絶対しないでください。

そのほか、クマに対する注意については、

長野県ホームページ「ツキノワグマによる人身被害を防ぐために」
<http://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/sangyo/ringyo/choju/joho/onegai/jinshin.html> も御覧ください。

森林づくり推進課鳥獣対策・ジビエ振興室

電話(直通)026-235-7273

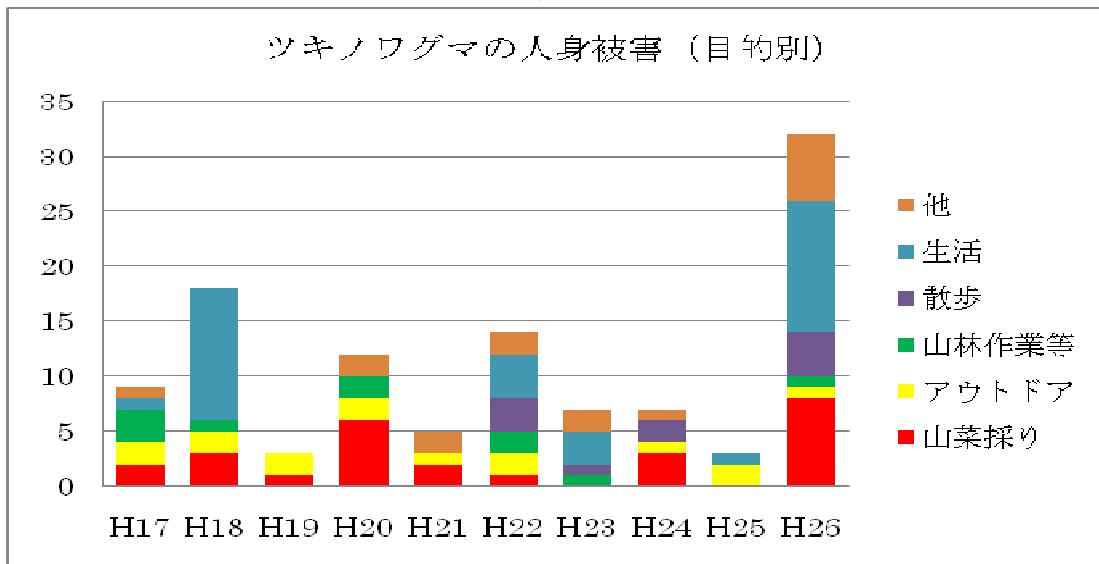
F A X 026-235-7279

choju@pref.nagano.lg.jp

ツキノワグマによる人身被害の状況

1 人身被害の状況

- 昨年度は過去最大の被害件数となっており、過去の大量出没の年と同様に生活圏での被害が多くなっています。



2 月別被害発生状況

- 例年、8月がピークとなるが、昨年度は9、10月の発生が11件と最大になっています。

